

平成 20 年度老人保健健康増進等事業報告書

自治体における認知症地域支援体制構築の
効果的な推進に関する研究事業

報告書

平成 21 年 3 月

社会福祉法人 浴風会
認知症介護研究・研修東京センター

目 次

I. 本研究事業のダイジェスト

1. 研究概要・内容方法・主な結果・結論・提言
2. 認知症地域支援体制づくりの将来ビジョンと推進ロードマップ
3. 事業の取り組んだ人たちの声

II. 事業概要	1
1. 目的	3
2. 本研究事業の背景とめざすもの	4
3. 委員会の設置	6
4. 事業対象	7
5. 事業内容	12
6. 事業スケジュール	14
III. 事業内容と結果	15
1. 合同セミナーの開催と有効性の検証：体制づくりにむけた系統的支援策 の開発	17
2. モデル事業の成果と課題の集約	30
3. 全国の成果物を集約したアーカイブスの基礎作り	67
＜参考例①＞ 藤井寺市(大阪府)	69
＜参考例②＞ 栃木県(真岡市・塩谷町)	82
＜参考例③＞ 山鹿市(熊本県)	100
IV. 事業のまとめ	121
1. 事業の結論	123
2. 提言	124
3. 認知症地域支援体制づくりの将来ビジョンと推進ロードマップ	125
V. 資料	127
1. 各種調査・アンケートシート	129
2. 合同セミナーワークシート	170
3. モデル地域の取り組み成果例(収集・集積の一部)	203

IV. 事業のまとめ

1. 事業の結論

<1. 短期・集中的な取り組みの有効性>

自治体の規模によらず、自治体が主体的・計画的に認知症地域支援体制づくりに取り組むことで、体制構築が短期間（1～2年）で飛躍的に進展することが確認された。

<2. 期間を適切に設定しながら、効率的・継続的な推進を>

モデル地域の体制づくりは、1年目に比べて2年目に大きく進展したが、総合的な展開や継続性を確保するための基盤固めや多様な成果を生み出すためには、3年単位の事業期間幅が必要・適切と考えられた。

<3. 基盤固めの重要性>

単発の事業項目への取り組みを急がずに、地域支援の基盤固め（本人本位の視点の共有、ビジョンづくり、実態把握、推進コアチームづくり・コーディネーターの確保・支援等）を確実に行うことで、事業の総合的な進展と継続性、波及効果をうみだすことが確認された。

<4. 眠れる地域資源の最大限の活性化>

モデル事業を通じて、過疎地から都会地まで地元ですでにあった資源が「発見」されたり、活躍し始める契機となり、それらがネットワーク作りや地域支援に威力を発揮した。

<5. 地域支援と個別支援の連動の重要性>

地域支援体制づくりと個別支援チームづくりを連動させることで、相乗効果が生まれ、認知症対策の成果が拡大した。共通ツール（センター方式を）自治体が導入すると、相乗効果や成果がより大きいことが確認された。

<6. 進捗状況の自治体較差とその背景>

体制づくりの進捗状況には、自治体較差があることが確認された。

その主な背景として、以下の4点がみられた。

- ① 全国の動向や先進例に関する情報量の較差。
- ② 認知症地域支援の重要性についての自治体の認識や、事業の位置づけの較差。
- ③ 認知症地域支援体制づくりを着実・効率的に推進していくための、自治体（都道府県、市区町村）における事業マネジメント（企画・運営・モニタリング）の較差。
- ④ 地域特有の組織上の壁の有無。
例えば、専門職種間、医師会、警察、学校など。

<7. 自治体・地域の取組みのバックアップの重要性>

地域や自治体の現状を把握しつつ、セミナーや情報提供等を通じて系統的にバックアップすることは、体制づくりの進捗や成果の創出に有効であった。

2. 提 言

1. 全自治体の早急な着手の推進

都道府県は、管内市区町村に対して、「本人本位の視点に立った認知症地域支援体制づくりが認知症対策を一体的・効率的に進めていく上で有効であること」を周知し、全自治体が体制づくりに早急に着手するよう、計画的な推進が求められる。

<例> ①2011 年までに、管内全自治体が着手し始めることを目標とする。

②全自治体は、第 5 期計画に、認知症地域支援体制づくりを具体的に盛り込む。等

2. 円滑かつ実効性の高い体制づくりの推進

都道府県は、管内の自治体ができるだけ効率的に体制づくりを進めていけるよう、管内及び全国のモデル地域の取組みや成果に関する情報・人材等を最大限に活かすことが求められる。

3. 既存資源を活かして、できることから地域で着手を

市区町村は、体制づくりの基盤固めを急ぎ、地域の既存資源を最大限に活かして、可能な点から体制づくりを進め、地域支援と個別支援が結びついた実質的な成果を生みだしていくことが求められる。

4. 事業マネジメントの普及と推進を

認知症地域支援体制づくりを効率的・継続的に進めていくための事業マネジメントの発想としくみを導入し、国レベル・都道府県レベル・市区町村レベルで重層的・一貫的な事業マネジメント（企画・運営・モニタリング）を行っていくことが求められる。

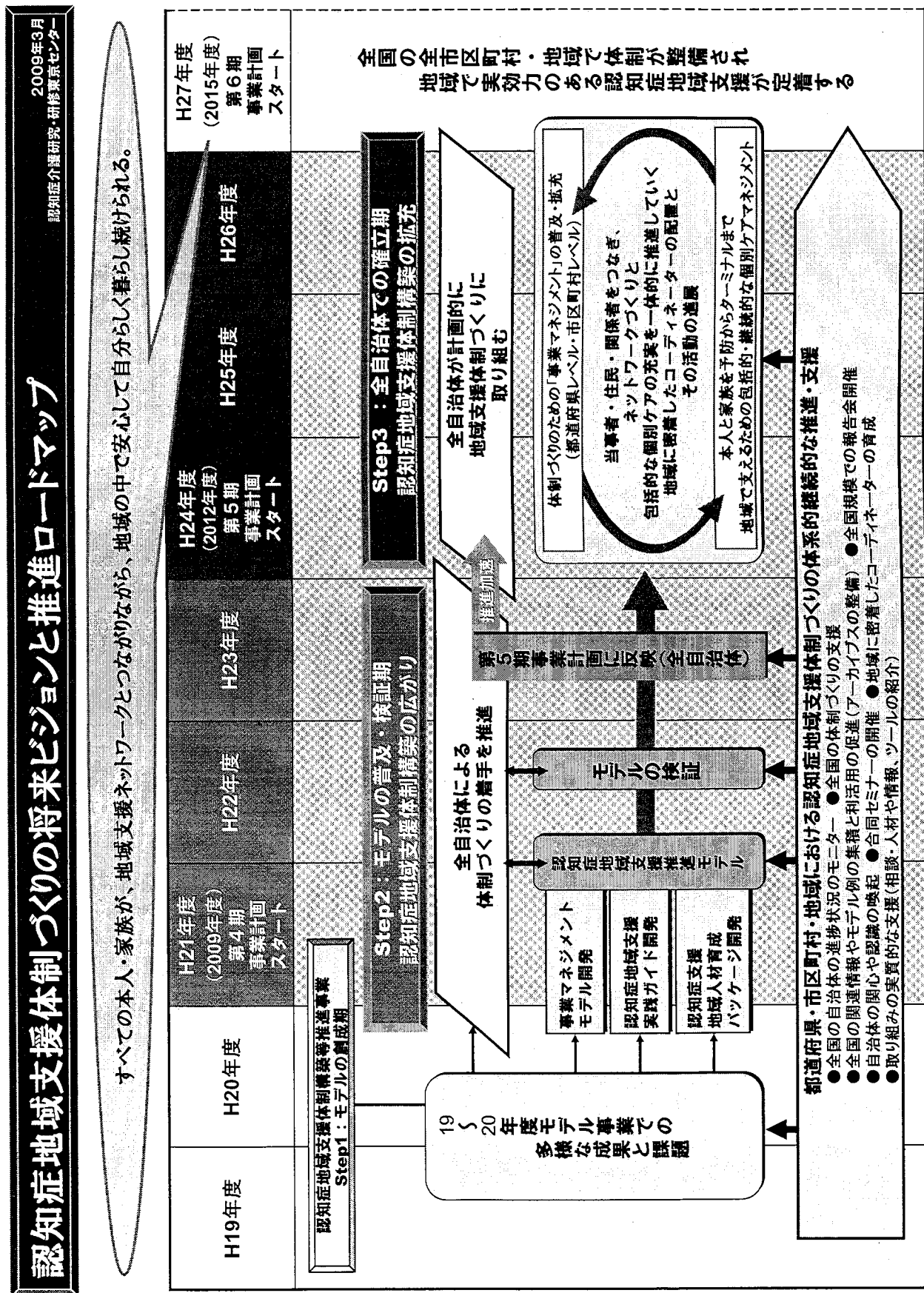
5. 全自治体が認知症地域支援体制づくりに積極的・継続的に取り組むことを総合的に推進する拠点づくりを

全国の自治体の進捗状況のモニター、全国の関連情報やモデル例の集積と利活用の促進（アーカイブスの整備）、自治体の関心や認識の喚起、合同セミナーの開催、地域に密着したコーディネーターの育成、取り組みの実質的な支援（相談、人材や情報・グッズ・ツールの紹介）等を体系的・継続的に担う拠点を時限的に設け、短期・中期的に自治体の取組みを推進していくことで事業の成果及び波及効果を最大限に生み出すことが求められる。

6. 多様な資源の地域支援への参画の推進を

福祉・保健・医療・行政関係者はもちろん、自治体首長や住民や当事者団体、多様な生活関連領域の組織や人に対し、モデル事業の成果を広報・周知し、地元での認知症地域支援体制づくりへの理解と協力・参画を促進していくことが求められる。

3. 認知症地域支援体制づくりの将来ビジョンと推進ロードマップ



V. 資 料

1. 各種調査・アンケートシート

<平成 19 年度 第 1 回分>

わが町紹介

都道府県		市区町村名		
人口		認知症の人数		
高齢者数		認知症の人数の把握方法 ※該当番号に○	() 1.認知症高齢者日常生活自立度Ⅰ以上 () 2.認知症高齢者日常生活自立度Ⅱ以上 () 3.その他()	
全世帯数		地域包括支援センター数	運営()・委託()	
1人暮らし高齢者世帯 (高齢者世帯中の割合)		コーディネーター (候補含む)	()人	立場 ・ ・ ・

- わが町の全般的な特徴
- わが町の認知症対策の特徴（これまでの取り組み経過、独自事業など）
- 認知症対策に関してわが町で課題となっていること、困っていること、悩んでいること
- 今回の事業について
 - 1) モデル地域となった経緯
 - 2) 事業への期待・抱負
 - 3) 事業を行う上で課題となっていること

東京・東京センタージャパン・マネジメント・システム・研究所・設立

<平成 19 年度 第 2 回分 都道府県経過シート 2>

H19第2回【経過 都道府県】認知症地域支援体制づくりの経過シート

1

Q1.推進会議の構成員を設置した経緯についてお聞かせください。

1)～5)の内容についてそれぞれご記入ください。

1)構成員の立場(※欄が足りない場合は増やしてご記入ください。名簿の添付でも結構です。)

No	立場	No	立場
1		6	
2		7	
3		8	
4		9	
5		10	
		計 ()人	

2)構成員の選定方針

3)構成員の具体的な役割

4)構成員を活かすための今後の企画

5)会議は公開か、非公開か、どちらか1つに○を付けてください。

☐ 公開
 ☐ 非公開

Q2.貴都道府県で、本事業を主に推進している担当者的人数、部署名をご記入ください。
(※欄が足りない場合は増やしてご記入ください。)

No	部署名	No	部署名
1		6	
2		7	
3		8	
4		9	
5		10	
		計 ()人	

認知症介護研究・研修東京センター ケアマネジメント推進室

＜平成 19 年度 第 2 回分 都道府県経過シート 3＞

H19第2回【経過_都道府県】認知症地域支援体制づくりの経過シート

2

Q3.事業を担当する上で、担当者自身のお考えをお聞かせください。

1)本事業への期待

--

2)事業を進める上での悩み、不安

--

3)事業を進めながら認知症地域支援体制づくりの推進について気づいたこと、アイデア等

--

Q4.今回の事業と関連付けて展開している、あるいはしようとしている他の認知症関連の事業がありますか？
どちらか一つに○をつけてください。

--

ある ※事業の具体的な内容をご記入ください。

--

--

ない

Q5.第2回セミナーへの要望をお聞かせください。

--

Q6.今年度末まで(3月まで)の事業計画、スケジュールおよび組織図について最新のものをお送りください。
※お手数ですが、それぞれ一部をコピーしてお送りください。メールでの添付でも結構です。

ご協力ありがとうございました。
認知症介護研究・研修東京センター ケアマネジメント推進室

＜平成19年度 第2回分 モデル地域経過シート1＞

133

<平成 19 年度 第 2 回分 モデル地域経過シート 2>

H19第2回【経過モデル地域】認知症地域支援体制づくりの経過シート

1

Q1.コーディネーターを配置した経緯についてお聞かせください。

1)～5)の内容についてそれぞれご記入ください。

1)コーディネーターの人数、立場(※欄が足りない場合は増やしてご記入ください。)

No	立場	No	立場
1		6	
2		7	
3		8	
4		9	
5		10	
		計 ()人	

2)コーディネーターを選定した方針・考え方

3)選定や依頼にあたって配慮したこと

4)コーディネーターの具体的な役割

5)コーディネーターを活かすために工夫している点

認知症介護研究・研修東京センター ケアマネジメント推進室

<平成 19 年度 第 2 回分 モデル地域経過シート 3>

H19第2回【経過モデル地域】認知症地域支援体制づくりの経過シート

2

Q2. 今回の事業を推進しているコアチームについてお聞かせください。

※コアチームとはコーディネート委員会そのものではなく、事業の実質を運営・推進しているメンバー（行政担当者含む）です。（欄が足りない場合は増やしてご記入ください。）

	コアメンバーの立場	主に担っている役割
1		
2		
3		
4		
5		
計（ ）人		

Q3. 事業を担当する上で、担当者自身のお考えをお聞かせください。

1) 本事業への期待

2) 事業を進める上での悩み、不安

3) 事業を進めながら認知症地域支援体制づくりの推進について気づいたこと、アイデア等

<平成 19 年度 第 2 回分 モデル地域経過シート 4>

H19第2回【経過モデル地域】認知症地域支援体制づくりの経過シート

3

Q4.モデル地域の実態把握の状況

1)モデル地域の基本データ

No	項目	データ	把握時点
1	人口		H 年 月 現在
2	高齢者数		H 年 月 現在
3	高齢化率		H 年 月 現在
4	全世帯数		H 年 月 現在
5	高齢者世帯数		H 年 月 現在
6	全世帯に占める高齢者世帯の割合		H 年 月 現在
7	一人暮らし高齢者世帯数		H 年 月 現在
8	高齢者世帯に占める一人暮らし高齢者世帯の割合		H 年 月 現在
9	認知症の人の人数		H 年 月 現在
10	高齢者に占める認知症の人の割合		H 年 月 現在

2)認知症の人の把握方法で①～⑦のうち、該当するものすべてに○を付けてください。

- ☐ ①要介護認定調査結果「傷病名より集計」
- ☐ ②要介護認定調査結果「認知症高齢者日常生活自立度Ⅰ以上を集計」
- ☐ ③要介護認定調査結果「認知症高齢者日常生活自立度Ⅱ以上を集計」
- ☐ ④要介護認定調査結果「認知症高齢者日常生活自立度Ⅲ以上を集計」
- ☐ ⑤在宅介護支援センター、地域包括支援センター等の実態把握を活用
→具体的に
- ☐ ⑥認知症の出現率を利用
→具体的に
- ☐ ⑦その他
→具体的に

3)実態把握にあたり、工夫や配慮したこと

4)実態把握をする上での課題

<平成 19 年度 第 2 回分 モデル地域経過シート 5>

H19第2回【経過_モデル地域】認知症地域支援体制づくりの経過シート

4

Q5.事業の企画や実施のためにヒヤリングしたり、意見を求めた組織・団体等で該当するものすべてに○を付けてください(点検欄)。また※の付いている項目は具体的な内容をご記入ください。

区分	点検	項目	具体的な内容
行政機関		1.行政の他部門 ※右欄に部署名をご記入ください。	
		2.社会福祉事務所	
		3.保健所	
		4.保健センター	
		5.地域包括支援センター(モデル地域内)	
		6.地域包括支援センター(モデル地域外)	
		7.その他※	
警察・消防		8.警察署	
		9.消防署	
		10.その他※	
組織・団体		11.家族の会等	
		12.社会福祉協議会	
		13.シルバー人材センター	
		14.ボランティア組織	
		15.医師会	
		16.介護事業者連絡会等	
		17.法律関係者	
		18.その他※	
医療機関		19.開業医	
		20.認知症専門医	
		21.認知症サポート医	
		22.一般病院	
		23.精神病院	
		24.その他※	
地域		25.民生委員	
		26.自治会長	
		27.公民館	
		28.住民	
		29.その他※	
その他			

認知症介護研究・研修東京センター ケアマネジメント推進室

<平成 19 年度 第 2 回分 モデル地域経過シート 6>

H19第2回【経過・モデル地域】認知症地域支援体制づくりの経過シート

5

Q6.事業実施にあたり、市区町村として大事にしてきたこと、特徴等をお聞かせください。

Q7.今回のモデル事業と関連付けて展開している、あるいはしようとしている他の事業がありますか？

☐ ある ※事業の具体的な内容をご記入ください。

☐ ない

Q8.第2回合同セミナーへの要望をお聞かせください。

Q9.今年度末まで(3月まで)の事業計画、スケジュールおよび組織図について最新のものをお送りください。
※お手数ですが、それぞれ一部をコピーしてお送りください。メールでの添付でも結構です。

ご協力ありがとうございました。
認知症介護研究・研修東京センター ケアマネジメント推進室

＜平成 19 年度 第 3 回分 都道府県経過シート 1＞

[illegible]

<平成 19 年度 第 3 回分 都道府県経過シート 2>

H19第3回【経過_都道府県】認知症地域支援体制づくりの経過シート

※ご注意：①前回ご記入いただいた内容に変更がない項目への記入は不要です。
②今回初めてご記入される方はQ 1～2 の項目すべてにご記入下さい。

Q1.推進会議の構成員を設置した経緯についてお聞かせ下さい。

1)～5)の内容についてそれぞれご記入下さい。

1)構成員の立場(※欄が足りない場合は増やしてご記入下さい。名簿の添付でも結構です。)

No	立場	No	立場
1		6	
2		7	
3		8	
4		9	
5		10	
		計 ()人	

2)構成員の選定方針

3)構成員の具体的な役割

4)構成員を活かすための今後の企画

5)会議は公開か、非公開か、どちらか1つに○を付けてください。

☐ 公開
 ☐ 非公開

Q2.貴都道府県で、本事業を主に推進している担当者的人数、部署名をご記入下さい。

(※欄が足りない場合は増やしてご記入下さい。)

No	部署名	No	部署名
1		4	
2		5	
3		6	
		計 ()人	

認知症介護研究・研修東京センター ケアマネジメント推進室 0801

<平成 19 年度 第 3 回分 都道府県経過シート 3>

H19第3回【経過 都道府県】認知症地域支援体制づくりの経過シート

	項目	③この期間に新たに見えてきた課題	④情報を得たいこと
基盤づくり	①ビジョンづくり	ビジョンの検討	
		ビジョンの明示	
	②推進組織づくり ※厚労省の要請より	推進会議の設置・開催	
		モデル地域との打ち合わせ・調整	
		モデル地域の取り組み状況の把握と分析及び評価	
		管内市区町村への情報発信	
		コーディネーター等モデル地域における関係者の活動の支援	
		認知症対応型サービスの取り組み事例の分析及び評価	
		認知症対応型サービスの取り組み事例の普及	
		本事業の円滑な実施に関して必要な事項	
事例の普及	認知症対応型サービスの取り組み事例の普及 ※厚労省の要請より	モデル事例の収集	
		モデル事例の抽出	
		モデル事例の定期的な状況把握	
		収集事例の情報分析・評価・まとめ	
		管内の市町村及び事業所への情報提供	
本事業におけるその他			

モデル地域 認知症地域支援体制づくりの経過シート

H20.3 経過

1. 進んでいる

2. 検討中

3. 進んでいない

4. 既に実現した

5. 年度内に実現予定

6. 年度外に実現予定

一歩ずつの歩みを記録しよう！

このシートは、認知症地域支援体制づくりの経過を記録するためのガイドであり、必ずしも全ての項目に記入する必要はありません。記入の目安は、認知症地域支援体制づくりの経過を記録するためのガイドであり、必ずしも全ての項目に記入する必要はありません。

記入日: H20年()月()日

モデル地域名:

記入者名(所属):

① 取り組みの状況

② この期間(前回セミナー後～H20.3予定含む)に新たに取組んだこと

③ この期間に新たに導入できた設備

④ 今後の予定

項目	① 取り組みの状況	② この期間(前回セミナー後～H20.3予定含む)に新たに取組んだこと	③ この期間に新たに導入できた設備	④ 今後の予定
① デジタル化	デジタル化の検討			
② デジタル化の検討	デジタル化の検討			
③ デジタル化の実現	デジタル化の実現			
④ デジタル化の活用	デジタル化の活用			
⑤ デジタル化の普及	デジタル化の普及			
⑥ デジタル化の活用	デジタル化の活用			
⑦ デジタル化の活用	デジタル化の活用			
⑧ デジタル化の活用	デジタル化の活用			
⑨ デジタル化の活用	デジタル化の活用			
⑩ デジタル化の活用	デジタル化の活用			
⑪ デジタル化の活用	デジタル化の活用			
⑫ デジタル化の活用	デジタル化の活用			
⑬ デジタル化の活用	デジタル化の活用			
⑭ デジタル化の活用	デジタル化の活用			
⑮ デジタル化の活用	デジタル化の活用			
⑯ デジタル化の活用	デジタル化の活用			
⑰ デジタル化の活用	デジタル化の活用			
⑱ デジタル化の活用	デジタル化の活用			
⑲ デジタル化の活用	デジタル化の活用			
⑳ デジタル化の活用	デジタル化の活用			
㉑ デジタル化の活用	デジタル化の活用			
㉒ デジタル化の活用	デジタル化の活用			
㉓ デジタル化の活用	デジタル化の活用			
㉔ デジタル化の活用	デジタル化の活用			
㉕ デジタル化の活用	デジタル化の活用			
㉖ デジタル化の活用	デジタル化の活用			
㉗ デジタル化の活用	デジタル化の活用			
㉘ デジタル化の活用	デジタル化の活用			
㉙ デジタル化の活用	デジタル化の活用			
㉚ デジタル化の活用	デジタル化の活用			
㉛ デジタル化の活用	デジタル化の活用			
㉜ デジタル化の活用	デジタル化の活用			
㉝ デジタル化の活用	デジタル化の活用			
㉞ デジタル化の活用	デジタル化の活用			
㉟ デジタル化の活用	デジタル化の活用			
㊱ デジタル化の活用	デジタル化の活用			
㊲ デジタル化の活用	デジタル化の活用			
㊳ デジタル化の活用	デジタル化の活用			
㊴ デジタル化の活用	デジタル化の活用			
㊵ デジタル化の活用	デジタル化の活用			
㊶ デジタル化の活用	デジタル化の活用			
㊷ デジタル化の活用	デジタル化の活用			
㊸ デジタル化の活用	デジタル化の活用			
㊹ デジタル化の活用	デジタル化の活用			
㊺ デジタル化の活用	デジタル化の活用			
㊻ デジタル化の活用	デジタル化の活用			
㊼ デジタル化の活用	デジタル化の活用			
㊽ デジタル化の活用	デジタル化の活用			
㊾ デジタル化の活用	デジタル化の活用			
㊿ デジタル化の活用	デジタル化の活用			

認知症地域支援体制づくりの経過シート H20.3 経過

<平成 19 年度 第 3 回分 モデル地域経過シート 2>

H19第3回【経過・モデル地域】認知症地域支援体制づくりの経過シート

1

※ご注意：①前回ご記入いただいた内容に変更がない項目への記入は不要です。
②今回初めて記入される方はQ 1～4 の項目すべてにご記入下さい。

Q1.コーディネーターを配置した経緯についてお聞かせ下さい。

1)～5)の内容についてそれぞれご記入下さい。

1)コーディネーターの人数、立場(※欄が足りない場合は増やしてご記入下さい。)

No	立場	No	立場
1		6	
2		7	
3		8	
4		9	
5		10	
		計 ()人	

2)コーディネーターを選定した方針・考え方

3)選定や依頼にあたって配慮したこと

4)コーディネーターの具体的な役割

5)コーディネーターを活かすために工夫している点

<平成 19 年度 第 3 回分 モデル地域経過シート 3>

H19第3回【経過_モデル地域】認知症地域支援体制づくりの経過シート

2

Q2. 今回の事業を推進しているコアチームについてお聞かせ下さい。

※コアチームとはコーディネート委員会そのものではなく、事業の実質を運営・推進しているメンバー（行政担当者含む）です。（欄が足りない場合は増やしてご記入下さい。）

	コアメンバーの立場	主に担っている役割
1		
2		
3		
4		
5		
計	()人	

Q3. 事業実施にあたり、モデル地域の自治体として大事にしてきたこと、特徴等をお聞かせ下さい。

<平成 19 年度 第 3 回分 モデル地域経過シート 4>

H19第3回【経過モデル地域】認知症地域支援体制づくりの経過シート

3

Q4.モデル地域の実態把握の状況

1)モデル地域の基本データ

No	項目	データ	把握時点
1	人口		H 年 月 現在
2	高齢者数		H 年 月 現在
3	高齢化率		H 年 月 現在
4	全世帯数		H 年 月 現在
5	高齢者世帯数		H 年 月 現在
6	全世帯に占める高齢者世帯の割合		H 年 月 現在
7	一人暮らし高齢者世帯数		H 年 月 現在
8	高齢者世帯に占める一人暮らし高齢者世帯の割合		H 年 月 現在
9	認知症の人の人数		H 年 月 現在
10	高齢者に占める認知症の人の割合		H 年 月 現在

2)認知症の人の把握方法で①～⑦のうち、該当するものすべてに○を付けてください。

- ☐ ①要介護認定調査結果「傷病名より集計」
- ☐ ②要介護認定調査結果「認知症高齢者日常生活自立度Ⅰ以上を集計」
- ☐ ③要介護認定調査結果「認知症高齢者日常生活自立度Ⅱ以上を集計」
- ☐ ④要介護認定調査結果「認知症高齢者日常生活自立度Ⅲ以上を集計」
- ☐ ⑤在宅介護支援センター、地域包括支援センター等の実態把握を活用
→具体的に
- ☐ ⑥認知症の出現率を利用
→具体的に
- ☐ ⑦その他
→具体的に

3)実態把握にあたり、工夫や配慮したこと

4)実態把握をする上での課題

ご協力ありがとうございました。

[illegible]

<平成 19 年度 第 3 回分 都道府県総括シート 2>

H19第3回【総括_都道府県】認知症地域支援体制づくり初年度総括

1

必ずご確認ください！

セミナーでの資料化の際に、ご記入いただいた内容(経過・総括)について都道府県名を明示してもよろしいですか？

☐ 可
☐ 否

Q1.初年度の取り組みを振り返り、事業担当者自身のお考えをお聞かせください。

1)事業の推進計画を作成する上で重要なポイントとして考えたこと

--

2)事業を推進していくためにに行ったモデル地域支援、工夫や配慮したこと

--

3)事業を進めながら管内自治体における認知症地域支援体制づくりについて重要であると思ったこと

--

4)次年度、事業を進めていく上での課題だと思っていること

--

＜平成 19 年度 第 3 回分 モデル地域総括シート 1＞

モデル地域 認知症地域支援体制づくり初年度報告シート

平成19年度報告

1. 対象地域に選んでいる。4社選んでいる。4社の地域に報告を
2. 対象地域に選んでいない。4社の地域に報告を

記入日: 2007年()月()日 モデル地域名

記入者名(所属)

初年度の歩みをまとめよう！
このシートは、認知症地域支援体制づくり初年度の報告をまとめるためのガイドです。初年度の報告をまとめるためのガイドです。初年度の報告をまとめるためのガイドです。
お手紙ですが、事務局宛に平成19年度2月20日までに送付をお願いします。初年度の報告をまとめるためのガイドです。初年度の報告をまとめるためのガイドです。初年度の報告をまとめるためのガイドです。
「①初年度の取り組み」欄は、初年度に実施した取り組みを記入して下さい。

項目	①初年度の取り組み	②初年度、取り組んだ成果	③初年度、覚えてきた課題	④次年度に向けて
①認知症ケアの体制づくり	認知症ケアの体制づくり			
②認知症ケアの体制づくり	認知症ケアの体制づくり			
③認知症ケアの体制づくり	認知症ケアの体制づくり			
④認知症ケアの体制づくり	認知症ケアの体制づくり			
⑤認知症ケアの体制づくり	認知症ケアの体制づくり			
⑥認知症ケアの体制づくり	認知症ケアの体制づくり			
⑦認知症ケアの体制づくり	認知症ケアの体制づくり			
⑧認知症ケアの体制づくり	認知症ケアの体制づくり			
⑨認知症ケアの体制づくり	認知症ケアの体制づくり			
⑩認知症ケアの体制づくり	認知症ケアの体制づくり			
⑪認知症ケアの体制づくり	認知症ケアの体制づくり			
⑫認知症ケアの体制づくり	認知症ケアの体制づくり			
⑬認知症ケアの体制づくり	認知症ケアの体制づくり			
⑭認知症ケアの体制づくり	認知症ケアの体制づくり			
⑮認知症ケアの体制づくり	認知症ケアの体制づくり			
⑯認知症ケアの体制づくり	認知症ケアの体制づくり			
⑰認知症ケアの体制づくり	認知症ケアの体制づくり			
⑱認知症ケアの体制づくり	認知症ケアの体制づくり			
⑲認知症ケアの体制づくり	認知症ケアの体制づくり			
⑳認知症ケアの体制づくり	認知症ケアの体制づくり			
㉑認知症ケアの体制づくり	認知症ケアの体制づくり			
㉒認知症ケアの体制づくり	認知症ケアの体制づくり			
㉓認知症ケアの体制づくり	認知症ケアの体制づくり			
㉔認知症ケアの体制づくり	認知症ケアの体制づくり			
㉕認知症ケアの体制づくり	認知症ケアの体制づくり			
㉖認知症ケアの体制づくり	認知症ケアの体制づくり			
㉗認知症ケアの体制づくり	認知症ケアの体制づくり			
㉘認知症ケアの体制づくり	認知症ケアの体制づくり			
㉙認知症ケアの体制づくり	認知症ケアの体制づくり			
㉚認知症ケアの体制づくり	認知症ケアの体制づくり			
㉛認知症ケアの体制づくり	認知症ケアの体制づくり			
㉜認知症ケアの体制づくり	認知症ケアの体制づくり			
㉝認知症ケアの体制づくり	認知症ケアの体制づくり			
㉞認知症ケアの体制づくり	認知症ケアの体制づくり			
㉟認知症ケアの体制づくり	認知症ケアの体制づくり			
㊱認知症ケアの体制づくり	認知症ケアの体制づくり			
㊲認知症ケアの体制づくり	認知症ケアの体制づくり			
㊳認知症ケアの体制づくり	認知症ケアの体制づくり			
㊴認知症ケアの体制づくり	認知症ケアの体制づくり			
㊵認知症ケアの体制づくり	認知症ケアの体制づくり			
㊶認知症ケアの体制づくり	認知症ケアの体制づくり			
㊷認知症ケアの体制づくり	認知症ケアの体制づくり			
㊸認知症ケアの体制づくり	認知症ケアの体制づくり			
㊹認知症ケアの体制づくり	認知症ケアの体制づくり			
㊺認知症ケアの体制づくり	認知症ケアの体制づくり			
㊻認知症ケアの体制づくり	認知症ケアの体制づくり			
㊼認知症ケアの体制づくり	認知症ケアの体制づくり			
㊽認知症ケアの体制づくり	認知症ケアの体制づくり			
㊾認知症ケアの体制づくり	認知症ケアの体制づくり			
㊿認知症ケアの体制づくり	認知症ケアの体制づくり			

<平成 19 年度 第 3 回分 モデル地域総括シート 2>

H19第3回【総括・モデル地域】認知症地域支援体制づくり初年度総括シート

1

必ずご確認ください！

セミナーでの資料化の際に、ご記入いただいた内容(経過・総括)について地域名を明示してもよろしいですか？

☐ 可
☐ 否

Q1. 地域資源マップの具体的な活用イメージについてお聞かせ下さい。

1) 対象(誰が活用するものとして考えられていますか)

2) 目的(何のために活用するものとして考えられていますか)

Q2. 今回の事業と関連付けて展開している、あるいはしようとしている他の認知症関連の事業がありますか？
どちらか1つに○を付け、「ある」場合は事業の具体的な内容をご記入下さい。

☐ ある ※事業の具体的な内容を下欄にご記入下さい。

☐ ない

<平成 19 年度 第 3 回分 モデル地域総括シート 3>

H19第3回【総括・モデル地域】認知症地域支援体制づくり初年度総括シート

2

Q3.事業の企画や実施のためにヒヤリングしたり、意見を求めたり連携した組織・団体等に○を付け、その他の場合は名称をご記入下さい。右欄にはそれぞれの具体的な内容をご記入下さい。

区分	点検	項目	具体的な内容
行政機関		1.行政の他部門(右欄に部署名をご記入下さい。)	
		2.社会福祉事務所	
		3.保健所	
		4.保健センター	
		5.地域包括支援センター(モデル地域内)	
		6.地域包括支援センター(モデル地域外)	
		7.その他()	
警察・消防		8.警察署	
		9.消防署	
		10.その他()	
組織・団体		11.家族の会等	
		12.社会福祉協議会	
		13.シルバー人材センター	
		14.ボランティア組織	
		15.医師会	
		16.介護事業者連絡会等	
		17.法律関係者	
		18.その他()	
医療機関		19.開業医	
		20.認知症専門医	
		21.認知症サポート医	
		22.一般病院	
		23.精神病院	
		24.その他()	
地域		25.民生委員	
		26.自治会長	
		27.公民館	
		28.住民	
		29.その他()	
その他		※福祉・介護分野以外の組織・団体等	
		30.その他()	
		31.その他()	
		32.その他()	
		33.その他()	
		34.その他()	

<平成 19 年度 第 3 回分 モデル地域総括シート 4>

H19第3回【総括_モデル地域】認知症地域支援体制づくり初年度総括シート

3

Q4.初年度の取り組みを振り返り、事業担当者自身のお考えをお聞かせ下さい。

1)事業の推進計画を作成する上で重要なポイントとして考えたこと

--

2)事業を推進していくために行ったモデル地域支援、工夫や配慮したこと

--

3)事業を進めながら地域の認知症地域支援体制づくりの推進について重要であると思ったこと

--

4)次年度、事業を進めていく上で課題だと思うこと

--

Q5.第3回セミナーへの要望をお聞かせ下さい。

1)最も情報交換をしたい項目は何ですか？下の番号から2つ選び、具体的な内容をご記入下さい。

- ①推進組織づくり ②実態把握 ③ネットワークづくり ④地域資源マップ ⑤認知症ケア等のサポート
⑥徘徊SOSネットワークの構築 ⑦もの忘れ相談の実施 ⑧認知症高齢者等のネットワーク支援
⑨見守りネットワーク ⑩センター方式を活かした事例検討会 ⑪本事業についての市民への広報 ⑫その他

No	具体的な内容

2)第3回セミナーへの要望をお聞かせ下さい。

--

ご協力ありがとうございました。

認知症介護研究・研修東京センター ケアマネジメント推進室 0801

＜平成 20 年度 第 1 回分 モデル事業経過調査シート（都道府県＆モデル地域）＞

FAX03-3334-2156 ケアマネジメント推進室宛

モデル事業経過調査 *参加者全員にお願いします。各自が 1 枚ずつご記入下さい。

都道府県名又は モデル地域名	お名前
-------------------	-----

1. 昨年度の取り組みを行ったことで、「自地域では、ここが進んだ」「こんな（小さな）成果がでてきた」と思われる主な 3 点を、具体的にお聞かせ下さい。

◇

◇

◇

2. 取り組みを振り返り、事業推進のためには「この点が大切」と気づかれた点をお聞かせ下さい。

3. 今年度の事業として、ご自身として力を入れたい点をお聞かせ下さい。

4. 事業を進めていく上で、苦労している点、悩んでいる点、他の地域から情報やアドバイスが欲しい点等がありましたらお聞かせ下さい。

苦労している点
悩んでいる点
情報やアドバイスが欲しい点

5. その他、セミナーについて、東京センターへのご意見・要望等をお聞かせ下さい。

<平成 20 年度 第 1 回分 モデル地域経過シート 1>

認知症地域支援体制づくりの経過シート(モデル地域)

H20.6現在

1.取組んでいる
2.検討中
3.取組んでいない

項目		①取り組み状況 (1～3から当てはまる番号をご記入下さい。)
基盤づくり	①ビジョンづくり	
	ビジョンの検討	
	ビジョンの明示	
	②コーディネーターの選定・配置 →Q1(P1)もご記入ください。	
	③推進組織づくり	
	コアチームの結成 (事業を推進していく上で、 中心になって企画したり、運営しているメンバー) コーディネート委員会等	
	④実態把握	
	モデル地域の実態調査	
	関係者のヒヤリング等 →Q5(P4)もご記入ください。	
	⑤ネットワークづくり (他部門、他機関、地域等への協力の呼びかけ)	
各事業	地域資源マップ	
	認知症ケア等のサポート	
	徘徊SOSネットワークの構築	
	もの忘れ相談の実施	
	認知症高齢者等のネットワーク支援	
	見守りネットワーク	
	センター方式を活かした事例検討会	
	本事業についての市民への広報	
本事業の取組み		

<平成 20 年度 第 1 回分 モデル地域経過シート 2>

H20第1回【経過_モデル地域】認知症地域支援体制づくり経過シート

1

Q1.コーディネーターを配置した経緯についてお聞かせください。

1)～5)の内容についてそれぞれご記入ください。

1)コーディネーターの人数、立場(※欄が足りない場合は増やしてご記入ください。)

No	立場	No	立場
1		6	
2		7	
3		8	
4		9	
5		10	
		計	()人

2)コーディネーターを選定した方針・考え方

3)選定や依頼にあたって配慮したこと

4)コーディネーターの具体的な役割

5)コーディネーターを活かすために工夫している点

<平成 20 年度 第 1 回分 モデル地域経過シート 3>

H20第1回【経過モデル地域】認知症地域支援体制づくり経過シート

2

Q2. 今回の事業を推進しているコアチームについてお聞かせください。
※コアチームとはコーディネート委員会そのものではなく、事業の実質を運営・推進しているメンバー（行政担当者含む）です。（欄が足りない場合は増やしてご記入ください。）

	コアメンバーの立場	主に担っている役割
1		
2		
3		
4		
5		
計	()人	

Q3. 事業を担当する上で、担当者自身のお考えをお聞かせください。

1) 本事業への期待

2) 事業を進める上での悩み、不安

3) 事業を進めながら認知症地域支援体制づくりの推進について気づいたこと、アイデア等

<平成 20 年度 第 1 回分 モデル地域経過シート 4>

H20第1回【経過_モデル地域】認知症地域支援体制づくり経過シート

3

Q4.モデル地域の実態把握の状況

1)モデル地域の基本データ

No	項目	データ	把握時点
1	人口		H 年 月 現在
2	高齢者数		H 年 月 現在
3	高齢化率		H 年 月 現在
4	全世帯数		H 年 月 現在
5	高齢者世帯数		H 年 月 現在
6	全世帯に占める高齢者世帯の割合		H 年 月 現在
7	一人暮らし高齢者世帯数		H 年 月 現在
8	高齢者世帯に占める一人暮らし高齢者世帯の割合		H 年 月 現在
9	認知症の人の人数		H 年 月 現在
10	高齢者に占める認知症の人の割合		H 年 月 現在

2)認知症の人の把握方法で①～⑦のうち、該当するものすべてに○を付けてください。

☐ ①要介護認定調査結果「傷病名より集計」

☐ ②要介護認定調査結果「認知症高齢者日常生活自立度Ⅰ以上を集計」

☐ ③要介護認定調査結果「認知症高齢者日常生活自立度Ⅱ以上を集計」

☐ ④要介護認定調査結果「認知症高齢者日常生活自立度Ⅲ以上を集計」

☐ ⑤在宅介護支援センター、地域包括支援センター等の実態把握を活用
→具体的に

☐ ⑥認知症の出現率を利用
→具体的に

☐ ⑦その他
→具体的に

3)実態把握にあたり、工夫や配慮したこと

4)実態把握をする上での課題

<平成 20 年度 第 1 回分 モデル地域経過シート 5>

H20第1回【経過モデル地域】認知症地域支援体制づくり経過シート

5

Q5.事業実施にあたり、市区町村として大事にしてきたこと、特徴等をお聞かせください。

Q6. 今回のモデル事業と関連付けて展開している、あるいはしようとしている他の事業がありますか？

☐ ある ※事業の具体的な内容をご記入ください。

☐ ない

Q7.合同セミナーへの要望をお聞かせください。

ご協力ありがとうございました。
認知症介護研究・研修東京センター ケアマネジメント推進室

※できるだけメールで9月28日までにご返信ください。FAX03-3334-2156 ケアマネジメント推進室宛

第2回モデル事業経過調査*参加者全員にお願いします。各自が1枚ずつご記入ください。

都道府県名又は モデル地域名	お名前
-------------------	-----

1. この事業をやってよかったと思えるエピソードがありましたら具体的にお聞かせください。
※「こんな(小さな)成果がでてきた」「こんな手ごたえがあった」「他部門と連携できた」などご自由どうぞ。

2. 取り組みを振り返り、事業推進のためには「この点が大切」と気づかれた点をお聞かせください。

3. 今年度後半の事業として、ご自身が力を入れたい点やそのための工夫をお聞かせください。

4. 事業を進めていく上で、苦労している点、悩んでいる点等がありましたらお聞かせください。

--

5. その他、セミナーについて、東京センターへのご意見・要望等お聞かせください。

第2回モデル事業経過調査*参加者全員にお願います。各自が1枚ずつご記入ください。

都道府県名又は モデル地域名	お名前
-------------------	-----

1. この事業をやったよかったと思うエピソードがありましたら具体的にお聞かせください。
※「こんな（小さな）成果がでてきた」「こんな手ごたえがあった」「他部門と連携できた」などご自由どうぞ。

2. 取り組みを振り返り、事業推進のためには「この点が大切」と気づかれた点をお聞かせください。

3. 今年度後半の事業として、ご自身が力を入れたい点やそのための工夫をお聞かせください。

4. 事業を進めていく上で、苦勞している点、悩んでいる点等がありましたらお聞かせください。

--

5. その他、セミナーについて、東京センターへのご意見・要望等お聞かせください。

＜平成 20 年度 第 2 回分 都道府県経過シート 1＞

[illegible]

<平成 20 年度 第 2 回分 都道府県経過シート 2>

H20第2回【経過・都道府県】認知症地域支援体制づくりの経過シート

※ご注意：①前回ご記入いただいた内容に変更がない項目への記入は不要です。
②今回初めてご記入される方はQ 1～2の項目すべてにご記入下さい。

Q1.推進会議の構成員を設置した経緯についてお聞かせ下さい。

1)～5)の内容についてそれぞれご記入下さい。

1)構成員の立場(※欄が足りない場合は増やしてご記入下さい。名簿の添付でも結構です。)

No	立場	No	立場
1		6	
2		7	
3		8	
4		9	
5		10	
		計 ()人	

2)構成員の選定方針

3)構成員の具体的な役割

4)構成員を活かすための今後の企画

5)会議は公開か、非公開か、どちらか1つに○を付けてください。

☐ 公開
 ☐ 非公開

Q2.貴都道府県で、本事業を主に推進している担当者の人数、部署名をご記入下さい。

(※欄が足りない場合は増やしてご記入下さい。)

No	部署名	No	部署名
1		4	
2		5	
3		6	
		計 ()人	

認知症介護研究・研修東京センター ケアマネジメント推進室_0809

＜平成 20 年度 第 2 回分 モデル地域経過シート 1＞

[illegible]

<平成 20 年度 第 2 回分 モデル地域経過シート 2>

H20第2回【経過・モデル地域】認知症地域支援体制づくりの経過シート

1

※ご注意：①前回ご記入いただいた内容に変更がない項目への記入は不要です。
②今回初めて記入される方はQ 1～4 の項目すべてにご記入下さい。

Q1.コーディネーターを配置した経緯についてお聞かせ下さい。

1)～5)の内容についてそれぞれご記入下さい。

1)コーディネーターの人数、立場(※欄が足りない場合は増やしてご記入下さい。)

No	立場	No	立場
1		6	
2		7	
3		8	
4		9	
5		10	
		計	()人

2)コーディネーターを選定した方針・考え方

3)選定や依頼にあたって配慮したこと

4)コーディネーターの具体的な役割

5)コーディネーターを活かすために工夫している点

<平成 20 年度 第 2 回分 モデル地域経過シート 3>

H20第2回【経過_モデル地域】認知症地域支援体制づくりの経過シート

2

Q2. 今回の事業を推進しているコアチームについてお聞かせ下さい。
※コアチームとはコーディネート委員会そのものではなく、事業の実質を運営・推進しているメンバー（行政担当者含む）です。（欄が足りない場合は増やしてご記入下さい。）

	コアメンバーの立場	主に担っている役割
1		
2		
3		
4		
5		
計	()人	

Q3. 事業実施にあたり、モデル地域の自治体として大事にしてきたこと、特徴等をお聞かせ下さい。

<平成 20 年度 第 2 回分 モデル地域経過シート 4>

H20第2回【経過・モデル地域】認知症地域支援体制づくりの経過シート

3

Q4.モデル地域の実態把握の状況

1)モデル地域の基本データ

No	項目	データ	把握時点
1	人口		H 年 月 現在
2	高齢者数		H 年 月 現在
3	高齢化率		H 年 月 現在
4	全世帯数		H 年 月 現在
5	高齢者世帯数		H 年 月 現在
6	全世帯に占める高齢者世帯の割合		H 年 月 現在
7	一人暮らし高齢者世帯数		H 年 月 現在
8	高齢者世帯に占める一人暮らし高齢者世帯の割合		H 年 月 現在
9	認知症の人の人数		H 年 月 現在
10	高齢者に占める認知症の人の割合		H 年 月 現在

2)認知症の人の把握方法で①～⑦のうち、該当するものすべてに○を付けてください。

- ☐ ①要介護認定調査結果「傷病名より集計」
- ☐ ②要介護認定調査結果「認知症高齢者日常生活自立度Ⅰ以上を集計」
- ☐ ③要介護認定調査結果「認知症高齢者日常生活自立度Ⅱ以上を集計」
- ☐ ④要介護認定調査結果「認知症高齢者日常生活自立度Ⅲ以上を集計」
- ☐ ⑤在宅介護支援センター、地域包括支援センター等の実態把握を活用
→具体的に
- ☐ ⑥認知症の出現率を利用
→具体的に
- ☐ ⑦その他
→具体的に

3)実態把握にあたり、工夫や配慮したこと

4)実態把握をする上での課題

ご協力ありがとうございました。

都道府県 認知症地域支援体制づくり総括シート1

平成20年度総括

1. 事業実施から取組み、事業中に発生した課題の把握について
2. 事業実施から取組み、事業中に発生した課題の把握について
3. 事業実施から取組み、事業中に発生した課題の把握について

※すべての都道府県で記入をお願いします

※事業実施から取組み、事業中に発生した課題の把握について

※事業実施から取組み、事業中に発生した課題の把握について

記入者名()

項目	①取組の状況	②取組の状況	③取組の状況(注1、注2、注3)	④取組の状況(注1、注2、注3)	⑤取組の状況(注1、注2、注3)
①認知症対策	認知症対策の推進				
②認知症対策	認知症対策の推進				
③認知症対策	認知症対策の推進				
④認知症対策	認知症対策の推進				
⑤認知症対策	認知症対策の推進				
⑥認知症対策	認知症対策の推進				
⑦認知症対策	認知症対策の推進				
⑧認知症対策	認知症対策の推進				
⑨認知症対策	認知症対策の推進				
⑩認知症対策	認知症対策の推進				
⑪認知症対策	認知症対策の推進				
⑫認知症対策	認知症対策の推進				
⑬認知症対策	認知症対策の推進				
⑭認知症対策	認知症対策の推進				
⑮認知症対策	認知症対策の推進				
⑯認知症対策	認知症対策の推進				
⑰認知症対策	認知症対策の推進				
⑱認知症対策	認知症対策の推進				
⑲認知症対策	認知症対策の推進				
⑳認知症対策	認知症対策の推進				
㉑認知症対策	認知症対策の推進				
㉒認知症対策	認知症対策の推進				
㉓認知症対策	認知症対策の推進				
㉔認知症対策	認知症対策の推進				
㉕認知症対策	認知症対策の推進				
㉖認知症対策	認知症対策の推進				
㉗認知症対策	認知症対策の推進				
㉘認知症対策	認知症対策の推進				
㉙認知症対策	認知症対策の推進				
㉚認知症対策	認知症対策の推進				
㉛認知症対策	認知症対策の推進				
㉜認知症対策	認知症対策の推進				
㉝認知症対策	認知症対策の推進				
㉞認知症対策	認知症対策の推進				
㉟認知症対策	認知症対策の推進				
㊱認知症対策	認知症対策の推進				
㊲認知症対策	認知症対策の推進				
㊳認知症対策	認知症対策の推進				
㊴認知症対策	認知症対策の推進				
㊵認知症対策	認知症対策の推進				
㊶認知症対策	認知症対策の推進				
㊷認知症対策	認知症対策の推進				
㊸認知症対策	認知症対策の推進				
㊹認知症対策	認知症対策の推進				
㊺認知症対策	認知症対策の推進				
㊻認知症対策	認知症対策の推進				
㊼認知症対策	認知症対策の推進				
㊽認知症対策	認知症対策の推進				
㊾認知症対策	認知症対策の推進				
㊿認知症対策	認知症対策の推進				

＜平成 20 年度 第 3 回分 都道府県総括シート 2＞

H20第3回【総括・都道府県】認知症地域支援体制づくり総括シート 2

1

都道府県の事業担当者として今回の事業全体を振り返り、下記の項目についてご回答ください。

- 1) 事業を通じて、貴都道府県で認知症地域支援体制づくりが進展したと思いますか。
 - ①モデル地域を中心に都道府県下で地域支援体制づくりが進展している。
 - ②モデル地域では体制づくりが進展しているが、それ以外の地域での進展はこれから。
 - ③体制づくりが進展しないモデル地域があった。

- 2) 事業全体を通しての都道府県としての主な成果をご記入ください。

- 3) モデル地域での事業全体を通してみえてきた都道府県としての総合的な課題をご記入ください。

- 4) 市区町村での認知症地域支援体制づくりを推進していく上で、都道府県の役割として重要と思われた点をご記入ください。

- 5) 市区町村への普及・推進に向けた取組み(構想・計画・方策等)をご記入ください。

- 6) 今回の事業の成果や課題を基として、下記の計画の計画策定に活かした点がありますか。

- (1) 都道府県老人福祉計画 (ある ・ ない)

○具体的に記入ください。

- (2) 都道府県介護保険事業支援計画 (ある ・ ない)

○具体的に記入ください。

- (3) その他都道府県の事業計画等 (ある ・ ない)

○具体的に記入ください。

- 7) 都道府県として認知症支援体制構築を円滑に推進していくために必要な条件や支援等を具体的に記入ください。

ご協力ありがとうございました。

トシトシ生活シテ

1. 事業費削減の徹底
2. 事業の効率化
3. 事業の多角化
4. 事業の国際化
5. 事業のデジタル化
6. 事業の環境化
7. 事業の社会貢献
8. 事業のイノベーション
9. 事業の持続可能性
10. 事業の透明性

※すべてのモデル地域での記入をお願いします

[illegible]

[illegible]

<平成 20 年度 第 3 回分 モデル地域総括シート 3>

H20第3回【総括：モデル地域】認知症地域支援体制づくり総括シート2

1

モデル地域の事業担当者として今回の事業全体を振り返り、下記の項目についてご回答ください。

1) 認知症地域支援体制づくりの取り組みを通じて、以下のようなアウトカムが生まれていますか。

- ① 地域支援の資源(人、場、モノ、情報、方法等)やそれらのつながりが増し、それらによって認知症の人と家族が支えられる実例が増えている。
- ② 地域支援の資源(人、場、モノ、情報、方法等)やそれらのつながりが増えているが、それらによって認知症の人と家族が支えられる実例が増えているまでには至っていない。あるいは確認できていない。
- ③ 事業期間内では、地域支援の資源(人、場、モノ、情報、方法等)やそれらのつながりが増えているまでには至っていない。あるいは確認できていない。

2) 事業全体を通じて、貴地域にとって重要だと考えられる主な成果をご記入ください。

3) 事業全体を通じて、認知症地域支援体制づくりを進める上で課題となった主な点をご記入ください。

4) 事業に取り組まれた経験上、今後、他の市区町村が認知症地域支援体制づくりに取り組む上で、特に「この点を大切にほしい」と考えられることをご記入ください。

5) 今回の事業の成果や課題を基として、下記の計画の計画策定に活かしている点がありますか。

(1) 高齢(老人)福祉計画 (ある ・ ない)

○具体的に記入ください。

(2) 介護保険事業計画 (ある ・ ない)

○具体的に記入ください。

(3) その他の事業計画等 (ある ・ ない)

○具体的に記入ください。

6) 市区町村として認知症支援体制構築を円滑に推進していくために必要な条件や支援等を具体的にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

2. 合同セミナーワークシート

<平成 19 年度 第 1 回分 1>

ワークシート1：本人の声、家族の声を聴く

070730モデル地域合同セミナー

都道府県名	市区町村名	氏名
メモ		感じたこと・考えたこと
(1) 本人の体験報告・提言より		
(2) ビデオ：本人と家族の声より		
(3) ビデオ：本人会議アピールより		
(話しあいメモ)		

認知症介護研究・研修東京センター

ワークシート2		都道府県名		市区町村名		氏名		'07 7月30日/モデル地域合同セミナー	
もし、自分が(わが町で)認知症になったら どんな体験をするだろうか？ よく、思い浮かべてみよう									
1) 自分の思い		3) 自分が求めていることが、今のわが町でみだされるか確認してみよう。 (1) みだされるもの (2) みだされないもの							
1) - 2 他の人の思いをきいてみよう									
2) 自分の求めていること(関わり、支え、環境、もの、他なんでも...)									
2) - 2 他の人が求めていることをきいてみよう									

ワークシート3 自地域での認知症支援体制の現状の確認
 各地域で1枚

2007.7.30
モデル地域合同セミナー

都道府県名：		市区町村/地域名：			
○国・県施策 ●市区町村独自 △民間での活動他	自立・グリーゾーン	認知症が現れ始める 中核症状出現期	様々な症状が現れる 症状多発期	心身の障害が重なる 障害複合期	ターミナル期
	A. 本人の支援				
	B. 家族の支援				
	C. 地域に關して				
	D. 事業者に關して				
E. その他					

※自分の市区町村/地域の実態を点検してみよう！

自治体としての認知 症地域支援の ビジョン	1. あり、市民に浸透している。 2. あるが、まだ浸透していない。 3. まだない。
認知症の本人・家族 ・地域の実態把握	1. 本人の実態把握がなされている。 2. 徘徊、虐待など、焦点をあてた実態把握がなされている。 3. 家族の実態把握がなされている。 4. 地域の実態把握がなされている。
推進組織	1. 理念・ビジョンが共有されている。 2. 議論のみでなく、現場や地域で共に活動している（予定がある）。 3. 年度の推進目標が明確になっている。
コア人材の確保・ 育成	1. コーディネーターを配置（予定）。 2. コーディネーターのレベルアップの支援。 3. 今後、新たにコーディネーターを育成する（予定）。
ネットワーク作り	1. 認知症地域支援の総合的ネットワークがある。 2. 対象・課題別のネットワークがある。 3. その他、独自のネットワークがある。
チーム協働	1. 地域で多機関一体の認知症研修を行っている。 2. 事業所や職員にチーム協働の意識が定着している。 3. 医療・介護が協働しての支援が広がっている。
その他特徴的な 取り組み	

ワークシート4 認知症支援体制構築に向けた各地の取り組み

2007.7.30
モデル地域合同セミナー

※このシートは各自のメモ用にお使いください。
最期に各地域で1枚だけ、ご提出ください（返知します）。

都道府県名：	市区町村/地域名：
--------	-----------

参加地域の「協議書・わか町紹介シート」・ワークシート3などを参照しながら情報交換を…。

自治体名 内 容	自治体1：	自治体2：	自治体3：	自治体4：
地域の概況				
認知症対策の特徴				
認知症支援で課題と なっている				
今回の事業への期待・ 抱負				
事業の概要 ～役割や工夫を中心に～ 推進体制 主な事業内容 実施方法 etc				
課題になっていること				
話し合いメモ				
各地域でのこれからの事業 で参考にして行きたい点、 活かして行きたい点				

<平成 19 年度 第 1 回分 5>

ワークシート5 認知症地域支援体制構築に向けた具体的ヒント

2007.7.31

モデル地域合同セミナー

※このシートは各自のメモ用にお使いください。

最期に各地域で1枚だけ、ご提出ください（返却します）。

都道府県名：

市区町村/地域名：

氏名：

※講師や参加者の話をききながらヒントをメモしよう。

	メ モ	今回の事業で活かしたい点
1) 自治体の役割		
2) 推進会議について		
3) コーディネーターについて		
4) 地域資源マップ		
5) ネットワーク構築について		
◎ 徘徊・SOSネット ワークについて		
その他		

認知症介後研究・研修東京センター

ワークシート6 支援体制の効率的な構築にむけて
共通ツールとしてセンター方式の活用

2007.7.31
モデル地域合同セミナー

※このシートは各自のメモ用にお使いください。
全員がご提出ください（返却します）。

都道府県名：	市区町村/地域名：	氏名：
--------	-----------	-----

★ 一つのツールが事業の一貫した推進に役立ちます。

事業での様々な活用方法	× モ	今回の事業で活かしたい点
推進会議で活かす ①共通の視点あわせに ②委員が情報発信や自身のネット ワークを事業に活かすために ③コーディネーター等の活動支援に ④取り組み事例の分析・評価に ⑤事業全体の成果の確認・実証に		
コーディネーターが活かす ⑥共通の視点・共通言語で活かした ネットワーク作りを ⑦認知症ケア等のサポートや 専門的助言を効率的に ⑧情報共有やケース検討や会 議を効率的に ⑨個別支援と資源マップ作成 を相互に充実させる ⑩コーディネーターの活躍の 成果を目に見える形で記録・ 実証するために		
地域資源マップの作成と活用のために ⑪関係者が資源を掘り起こす際の導入・ 教育ツールとして ⑫資源掘り起こしの共通ツール ・共通フォーマットとして ⑬資源マップを活かして、関係者が適 切なサービスにつなげていくために ⑭資源マップ作成後の活用成果を 実証するために		
徘徊SOSネットワークで活かす ⑮ネットワーク関係者の意識・ 理解・関わりの向上に活かす ⑯個別ケースの早期対応・発見・ フォローをしていくための共通 ツールとして活かす ⑰ネットワーク関係者を増やすために 活かす一見守りネットワークの充実		
医療との連携強化に活かす ⑱物忘れ相談の基本フォーマット として ⑲医療との効率的な情報共有 ⑳医療連携ケースの成果の実証		
支援体制の基盤の強化に活かす ☆1.地域包括の支援力向上に活かす ☆2.ケアマネの支援力向上に活かす ☆3.利用者本位のチーム力を高める ために地域の事業所の共通ツ ールとして活かす。 ☆4.地域密着型サービスの質を確保 し地域拠点作りに ☆5.家族の理解・介護力、プロとの協 働力を高めるために ☆6.サポーターの力量向上と活躍の場 を作るために ☆7.一般市民の具体的な理解を高める ために：市民の共通言語にして当 たり前水準をあげる		

2007.7.31
モデル地域合同セミナー

※このシートは各自のメモ用にお使いください。

*全員がご提出ください（返却します）。

都道府県名：	市区町村/地域名：	氏名：
--------	-----------	-----

セミナー2日間を活かして、これからの「わが町」にむけて、事業をどう「生きたもの」にするか、アイディアをだしあおう。

内 容	自分自身でまず考えてみよう	自地域の人との話し合いメモ	具体的な作業課題 (各地域でのまとめ)	他の地域の人々のアイディア、 参考情報
1) 今回の事業についての 自分自身のイメージや ビジョンで、より明確 になった点				
2) 自分なりに取り組んだ り・働きかけていき たい点 ①すぐに ②今年度中に ③来年度にむけて				
3) 今回のセミナーで得た 情報を、地域で伝え たい人・組織				
4) 今回の情報をもとに、 今後活動をはかりたい 人・組織				
5) 事業を進めていく上で 課題と感ずること・ それに対するアイディア 等				

＜都道府県用＞ワークシート1 他地域の取り組みに学ぶ

※このシートは各自のメモ用にお使いください。全員がご提出ください（返却いたします）。



他地域の取り組み状況をメモしよう。

記入者	都道府県名：	市区町村/地域名：	氏名：
-----	--------	-----------	-----

都道府県名：	都道府県名：	都道府県名：	メモ
1) 推進会議の設置・運営について	(取り組み) (課題)		
2) モデル地域における活動の支援	(取り組み) (課題)		
3) モデル地域の取組み状況等の管内市区町村への情報発信	(取り組み) (課題)		
4) 認知症対応型サービスの取組み事例の普及	(取り組み) (課題)		
5) その他	(取り組み) (課題)		

＜市区町村／地域用＞ワークシート1 他地域の取り組みに学ぶ

2007.11.08 第2回モデル地域合同セミナー

※このシートは各自のメモ用にお使いください（返却いたします）。

記入者

市区町村/地域名

氏名

他地域の取り組み状況をメモしよう。

	市区町／地域名：	市区町／地域名：	市区町／地域名：	メモ
I・事業の基礎固め				
1)ビジョンづくり	(取り組み)			
2)実態把握				
(1)調査				
(2)ヒアリング	(課題)			
3)コア人材の確保・育成				
4)コアチーム・組織作り				
5)共通認識を持った多資源人材の育成				
1)コーディネータの活動	(取り組み)			
(1)資源マップの作成への取組み				
(2)ネットワーク構築と推進のための調整				
(3)地域包括支援センター等への認知症に関する専門的な助言	(課題)			
(4)その他				
2)地域資源マップの作成	(取り組み)			
	(課題)			
3)地域支援体制推進	(取り組み)			
(1)認知症ケア等へのサポート				
①地域包括とコーディネーターとの連携				
②地域資源マップの活用				
(2)徘徊SOSネットワーク構築				
①連絡網の整備				
②拠点の設置	(課題)			
③模擬訓練の実施				
(3)地域での創生工夫（例）				
①ちの忘れ相談				
②見守りネットワーク				
③センター方式を活用した事例検討会)				
その他の取り組み				

II・事業の実施

認知症介護研究・研修東京センター

ワークシート2 わが地域の取り組みと課題の整理

2007.11.08 第2回モデル地域合同セミナー

※このシートは各自のメモ用にお使いください。全員がご提出ください（返却いたします）。

「他地域の取り組みに学ぶ」を参考に
自地域の取り組みを再点検しよう。

記入者	都道府県名	市区町村/地域名	氏名
-----	-------	----------	----

	取り組み状況の再点検 (事前の「経過シート」をもとに)	事業の推進に向けた現時点での課題	課題の解決に向けて今後必要なこと (※→セミナー2日目の「今後のアクションプランづくり」に書く)
I : 事業の基礎固め	1) ビジョンづくり 2) 実態把握 (1) 調査 (2) ヒアリング 3) コア人材の確保・育成 4) コアチーム・組織作り 5) 共通認識を持った多資源 人材の育成		
II : 事業の実施	1) コーディネータの活動 (1) 資源マップの作成への取り組み (2) ネットワーク構築と推進のための調整 (3) 地域包括支援センター等への認知 症に関する専門的な助言 (4) その他 2) 地域資源マップの作成 3) 地域支援体制推進 (1) 認知症ケア等へのサポート ①地域包括とコーディネーターとの連携 ②地域資源マップの活用 (2) 徘徊SOSネットワーク構築 ①連絡網の整備 ②拠点の設置 ③模擬訓練の実施 (3) 地域での創薬工夫 (例) ①ちの忘れ相談 ②見守りネットワーク ③センサー方式を活用した事例検討会		
その他の取り組み			

ワークシート3-1（平成19年度）：今後の事業展開にむけたアクションプランとブラッシュアップ（他地域の情報を参考に）

2007.11.09
第2回モデル地域合同セミナー

※このシートは各自のメモ用にお使いください。
最後に各地域で1枚ご提出ください（返却します）。

都道府県名：市区町村/地域名：氏名：

事業内容	07/11月	12月	08/1月	2月	3月	他地域との情報交換で得られたヒント・アイデア
各月のポイント						
○基盤固め						
○体制作り						
コーディネーターの配置・活動						
地域資源マップの作成						
地域支援体制推進事業 ○コーディネーター等によるケアのサポート ○詳細SOSネットワークの構築 ○地域での創登工夫 ・物忘れ同席 ・見守りネットワーク ・センター方式を活用した事例検討会 他						
その他						

ワークシート 3-2（平成20年度）：今後の事業展開にむけたアクションプランとブラッシュアップ（他地域の情報を参考に）

2007.11.09
第2回モデル地域合同セミナー

※このシートは各自のメモ用にお使いください。
最後に各地域で1枚ご提出ください（返却します）。

都道府県名：市区町村/地域名：氏名：

平成20年度内事業について

事業内容	08/ 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	09/ 1月	2月	3月	他地域との情報交換で得られたヒント・アイデア
各月のポイント													
○基盤固め													
○体制作り													
コーディネーターの配置・活動													
地域資源マップの作成													
地域支援体制推進事業 ○コーディネーター等によるケアのサポート													
○非営SOSネットワークの構築													
○地域での創意思工夫・物忘れ同断・見守りネットワーク・センター方式を活用した事例検討会 他													
その他													

認知症介護研究・研修東京センター

<平成 19 年度 第 2 回分 4>

4. ポイント別事業の効果的な推進にむけて
※メモ：午後のワークにむけて

071109
第2回モデル地域合同セミナー

都道府県

市区町村名

氏名

	報告を聞いての参考メモ	今回の事業で活かしたい点
認知症地域支援の 基盤づくりと推進に向け て		
コーディネーターの確保 と活動展開に向けた計画 的な推進にむけて		
地域に根ざした地域資源 マップづくりと活用につ いて		
地域資源を活かした十個 性のある徘徊 SOS ネット ワーク構築に向けて		

ワークシート1			
〇取り組んで見えてきたポイント → 今後に向けた補強点の確認		2008年2月25日 第3回モデル地域合同セミナー	
全体情報交換	わが地域の取組みの ふりかえり	補強点・手がかり	
1)			
2)			
3)			
4)			

ワークシート2		モデル 地域名		2008年2月25日 第3回モデル地域合同セミナー	
〇わが地域の今後に向けた補強点と取り組み方					
	わが地域の取り組みのふりかえり	地域としての補強点	具体的なアクション案		
1)					
2)					
3)					
4)					

ワークシート3 具体的なアクションの手がかりを探る

2008.2.26 第3回モデル地域合同セミナー

※このシートは各自のメモ用にお使いください。全員がご提出ください（返却いたします）。

記入者

都道府県名

市区町村/地域名

氏名

自分がそのために
やっていること

今後やってみたいこと

実際にやっていく上での
課題

話し合いからの手がかり

1. 認知症地域支援の基盤の拡
充にむけて
1) ビジョンづくり
2) 実態把握
(1) 調査
(2) ヒヤリング
3) コア人材の確保・育成
4) コアチーム・組織作り
5) 共通認識を持った多資源人材
の育成
2. 資源マップ作りと活用推進
にむけて

3. コーディネーターの確保
と活動展開にむけて

4. 地域支援体制構築にむけ
た人材確保・育成と
ネットワークにむけて
～センタ－方式を活かした展開～
・研修
・事例検討
・モデル事例収集

その他

認知症予防研究・研修東京セブター

ワークシート4：今後の事業展開にむけたアクションプラン（叩き台）
※このシートは各自のメモ用にお使いください。最後に各地域で1枚がご提出ください（返却します）。

2008.2.26
第3回モデル地域合同セミナー

都道府県名：

市区町村/地域名：

氏名：

事業内容	08/ 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	09/ 1月	2月	3月	09/ 4月～
1. 認知症地域支援の基盤の 拡充にむけて 1) ビジョンづくり 2) 実態把握 (1) 調査 (2) ヒヤリング 3) コア人材の確保・育成 4) コアチーム・組織作り 5) 共通認識を持った多資源 人材の育成													
2. 資源マップ作りと 活用推進にむけて													
3. コーディネーターの 確保と活動展開に むけて													
4. センター方式の普及・ 活用													
5. 地域支援体制推進事業 ○コーディネーター等によるケ アのサポート ○徘徊SOSネットワークの構 築 ○地域での創意工夫 ・もの忘れ相談 ・見守りネットワーク その他													

認知症介護研究・研修東京センター

ワークシート1 自地域の進捗状況と今後のポイントの整理

※このシートは、都道府県・モデル地域で各1枚をご提出ください（返却いたします）。

氏名:	
都道府県名:	
市区町村/地域名:	

	①進捗状況（大まかな確認を） 該当するいずれかに○印			②大切に したい点	③力を入れたい点（内容）	④課題となっている点（内容）あるいは 他地域から情報やアドバイスが欲しい点（内容）
	未着手	着手 あり	成果 特に努力した点・ 出ている成果			
Ⅰ事業の基礎固め	1) ビジョンづくり					
	2) 実態把握					
	3) コア人材の確保・育成					
	4) コアチーム・組織作り					
	5) 共通認識を持った多様な人材の育成・ ネットワーク					
Ⅱ事業本体の推進	1) コーディネーターの活動					
	2) 地域資源マップの作成 活用					
	3) 地域支援体制推進 （1）認知症ケア等へのサポート					
	（2）徘徊SOSネットワーク構築					
	（3）地域での創意工夫（例） ①もの忘れ相談／医療との連携					
	②見守りネットワーク					
	③センサー方式を活用した事例検討会					
	その他の取組み					
	都道府県によるモデル地域支援					
	市区町村への情報配信					
取組み事例の普及						

認知症介護研究・研修東京センター

ワークシート3-1 事業の重点ポイント別徹底情報交換 1)～3)				2008.6.20
名前				
重点 ポイント	全体での情報交換メモ	他地域との情報交換メモ	自地域に活かしたい点	
1 事業推進の体制と方策について				
2 コーディネーターの活躍の推進について				
3 活きた資源アツクつくりの活用推進について				

2008.6.20
第1回モデル地域合同セミナー

ワークシート4：今後の事業展開にむけたアクションプラン（叩き台）
※このシートは各自のメモ用にお使いください。最後に各地域で1枚がご提出ください（返却します）。

都道府県名：

モデル地域名：

氏名：

来年度事業について

事業内容	08/ 6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	09/ 1月	2月	3月	09/4月以降にむけて 今年度やってみたいこと
1. 認知症地域支援の基盤の 拡充にむけて 1) ビジョンづくり 2) 実態把握 (1) 調査 (2) ヒヤリング 3) コア人材の確保・育成 4) コアチーム・組織作り 5) 共通認識を持った多資源 人材の育成											
2. 資源マップ作りと 活用推進にむけて											
3. コーディネーターの 確保と活動展開に むけて											
4. センター方式の普及・ 活用											
5. 地域支援体制推進事業 ○コーディネーター等によるク アのサポート ○徘徊SOSネットワークの構 築 ○地域での創薬工夫 ・もの忘れ相談 ・見守りネットワーク											
都道府県として モデル地域の支援 管内に広げるための取組み 事例の収集と活用											

認知症対策推進部 認知症対策センター

<平成 20 年度 第 2 回分 1-1>

【ワークシート1-1】事業展開マップ

2008. 10. 2
第2回合同セミナー 第1日目

- 自地域での現在の取組みの全体像と主な関係者を関係図にしてみましょう。
(経過シートを参考に)
- ★事業項目の相互が、どうつながっているのか。
- ★本事業以外とのつながりは？
- ★本事業での取組みが、具体的な個別支援につながったことは？

都道府県名	
地域名	

 : 事業項目  : 予定項目  : 実施済み  : 関係者
 : 特に強いつながり  : つながり  : つなぎたい

個別支援

<モデル地域>

本事業以外の事業

管轄内の他エリアや市区町村等との
つながり・広がり

<都道府県>

＜平成 20 年度 第 2 回分 1-2（都道府県用）＞

[illegible]

＜平成 20 年度 第 2 回分 1-2（モデル地域用）＞

【ワークシート1-2】事業展開の課題整理				
●今年度事業後半にむけて、自地域の取組みでの課題を整理してみよう				
★事業展開マップから見えたこと、他地域の報告から。				
第2回合同セミナー 第1日目				
地域名		モデル地域用 ※各モデル地域ごとに1枚ご記入ください。		
自地域の 事業項目や取組み	1)現在の事業及び取組みに対し、 あらためて気づいた点	2)現在の事業及び取組みに対し、 補完、充実したいこと	3)今後のより充実した体制づくりのために 新たに取組みたいこと	○具体的に知りたいこと
現在の事業及び取組みの 全体的なあり方や進め方に関して (各事業項目)				

<平成 20 年度 第 2 回分 2 (都道府県用)>

第2回合同セミナー 第2日目

都道府県用

記入者名

都道府県名

まどめ

【ワークシート2】事業充実策の具体化

自治域の充実に向けたアイデア	他地域から得た自治域へのヒント	まどめ
推進会議の運営		
モデル地域への活動支援		
事業経過の把握・分析・評価		
モデル地域の取組み状況等管内の市区町村への情報発信		
認知症対応型サービスの取り組み事例普及		
その他独自の取組みについて		

第2回合同セミナー 第2日目

【ワークシート2】事業充実策の具体化

モデル地域用

地域名

記入者名

	自地域の充実に向けたアイデア	他地域から得た自地域へのヒント	まとめ
コーディネータの活動			
地域資源マップの作成・活用			
認知症ケア等へのサポート			
徘徊SOS ネットワーク構築			
地域での創意工夫 ・ものわずれ相談 ・見守りネットワーク ・センサー方式の活用			
その他 独自の事業や取組み			

地域支援体制推進

第2回合同セミナー 第2日目				
【ワークシート3】わが地域の今年度後半のアクションプラン				
都道府県	アクションプラン (何を、どのように、誰と一緒に、いつまでに)	モデル地域	地域名	記入者名
推進会議の 運営		コーディネータの 活動		
モデル地域への 活動支援		地域資源マップの 作成・活用		
事業経過の 把握・分析・評価		認知症ケア等 への サポート		
モデル地域の 取組み状況等 管内市区町村への 情報発信		徘徊SOS ネットワーク 構築		
認知症対応型 サービスの 取組み 事例普及		地域での 創意工夫 ・ものわすれ相談 ・見守り ネットワーク ・センサー方式の 活用		
その他 独自の 事業や取組み		その他 独自の事業や 取組み		

【ワークシート1】 取組み成果マップ ◆総括シート（資料4）を活かして

●本事業の経過全体を振り返り、全体を通じて一つひとつの取組みの成果をマップにし、「取組み成果の全体像」を俯瞰してみよう。

平成20年度第3回合同セミナー 第1日目（2009年1月29日）

都道府県名

記入者名

都道府県用

★各都道府県ごとにシートを1枚ご提出願います。
シートはコピー後、返却いたします。

①都道府県としての取組み成果マップ

記入凡例

生み出されたものごと・取組み（一次成果）

生み出すために取組んだ事項・工夫

一次成果を活かして生み出した有効な支援／体制（二次成果）

波及効果

※関連性のある取組み成果を一（矢印）で結んでください。（特に強い関連は二重線で結ぶ）
※最も重要と考える箇所に★印をつけてください。

年月欄

事業スタート年月

（経過）

②事業を通じて確認された（あるいは、気づいた）都道府県の役割

＜事業の企画・運営・施策等に関して＞

＜モデル地域との関わりや支援のあり方に関して＞

③今回の成果として次年度以降へ引き継ぎ、継続していきたい点（引き継いで欲しい点）

気づきメモ：今後、管内での普及を推進していく上での課題（「ワーク2」の素材として）

<平成 20 年度 第 3 回分 1 (モデル地域用) >

【ワークシート1】 取り組み成果マップ ◆ 締結シート (資料4) を活かして
● 本事業の経過全体を振り返り、全体を通じて一つひとつの取り組みの成果を
マップにし、「取り組み成果の全体像」を俯瞰してみよう。

大人数で参加の地域の方は、地図位置を離れたシート
1枚でも記入願います。シートに1枚、記入願います。

モデル地域用

平成20年度第3回分同封おしー 第1回目 (2009年1月29日)

モデル地域名	
記入者名	

①モデル地域としての取り組み成果マップ

記入月例

生か出されたものこと
仕組み (一歩成果)

生か出するために
取組んだ事象・工夫

取り組みを活かし
生まれた成果は支援・体制
(事業成果)

波及効果

※ 関連性のある取り組み成果を→(矢印)で結んでください。(特に強い関連は二重線で
※ 最も重要と考える箇所に太印をつけてください。

年月欄

事業スタート

年 月

②事業を通じて確認された (あるいは、気づいた) 自地域の強み (長所)

< 益益 大いにに関して >

< 個々の事業に関して >

③ 自地域で次年度以降へ継続・ 定着させていきたい取り組み成果	④ 他地域でも活かしてほしい取り組み成果
--	-----------------------------

気づきメモ：今後、地域支援体制を築いていく上での課題 (「ワーク2」の素材として)

◆「認知症地域支援体制構築等事業」を実際に行った当事者ならではの経験や気づき、アイデアを他地域での普及に活かしていきたい。

◆他地域へ広げていく取り組みを通じて、自地域での取り組みを継続・発展させていく良循環を生み出そう。

都道府県・モデル地域
共用

★特にポイントになる点を話し合い、まとめてみよう。

本事業での成果（「ワークシート1」から）	事業を行う上で、大切にしてほしい点
	成果として、参考にしてほしい点
	課題の中で、参考にしてほしい点
本事業での課題（「ワークシート2」から）	管内への普及の仕方（円滑に展開していくための）
	これから取り組む人たちへのメッセージ

地域支援体制構築を推進していくために求められる支援・条件

＜平成 20 年度 第 3 回分 4（ミニ報告メモ）＞

【ミニ報告メモ】他道府県・他モデル地域の「事業の全体成果」を聴いて、今年度の総括や来年度の展開に活かそう

平成20年度第3回合同セミナー 2009年1月29・30日

①取り組みの成果		②課題の整理と今後の展開		③他の地域に活かしていくために	
地域名		地域名		地域名	

認知症介護研究・研修東京センター ケアマネジメント推進室

3. モデル地域の実践成果（収集、集積の一部）

◆シンボルマーク

宇治市（京都府）



塩谷町（栃木県）



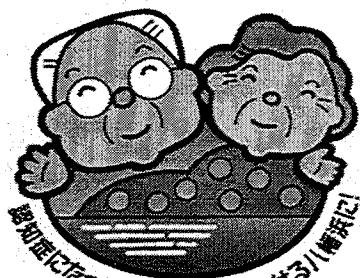
周南地域（山口県）



越前市（福井県）

もの忘れ相談医
越前市・武生医師会

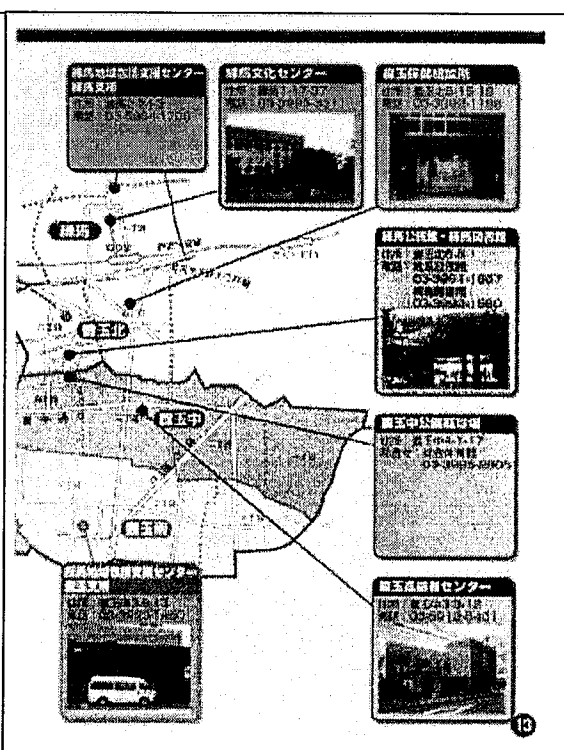
八幡浜市（愛媛県）



伊予市（愛媛県）

◆地域資源マップ

練馬区(東京都)



伊予市(愛媛県)



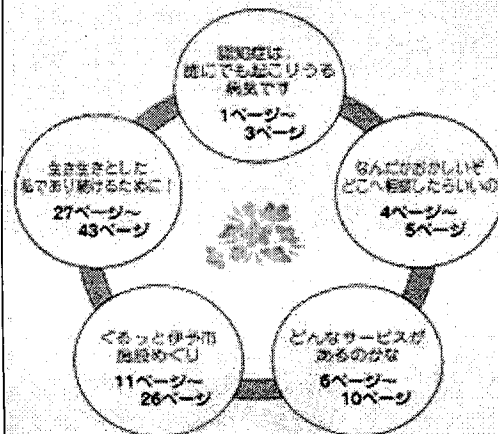
認知症は誰にでも起こりうる病気です。

調知生を自分のこととして考え
地域で育えながら

誰もが安心して暮らしていける伊予市にしよう！！

誰もが安心して暮らしていける伊予市にしよう！！

いよし長寿あんしんマップを見てみよう



本 庁 地 区 施 設 マ ッ プ

30 観音堂

1 観音堂
2 観音堂
3 観音堂
4 観音堂
5 観音堂
6 観音堂
7 観音堂
8 観音堂
9 観音堂
10 観音堂
11 観音堂
12 観音堂
13 観音堂
14 観音堂
15 観音堂
16 観音堂
17 観音堂
18 観音堂
19 観音堂
20 観音堂
21 観音堂
22 観音堂
23 観音堂
24 観音堂
25 観音堂
26 観音堂
27 観音堂
28 観音堂
29 観音堂
30 観音堂

生き生きとした私であり続けるために！

製品の特徴を十分に把握していただく。製品が完成された後に、お客様の不安にも
対応できるよう、品質管理、技術サポートのために、お力をお貸ししてまいります。

1 ふれあい・いきいきサロンの紹介です

「思慮深く、美しく」をモットーに、仲間と楽しく時間を過ごすことを目的に活動しています。毎年一回、新しい集まる事ができるかたいの小屋で、近くの東京府庁を利用していて、思っているだけ、ゲームをしたり、音楽を聴いたり、楽しみな行事を行っています。活動内容は地域によって異なりますので、参加されている方は必ず事前に連絡をお願いします。まだお聞きかせください。

伊予市社会福祉協議会
伊予市南町123番地4 TEL 982-0393

[illegible]

但馬地域(兵庫県)

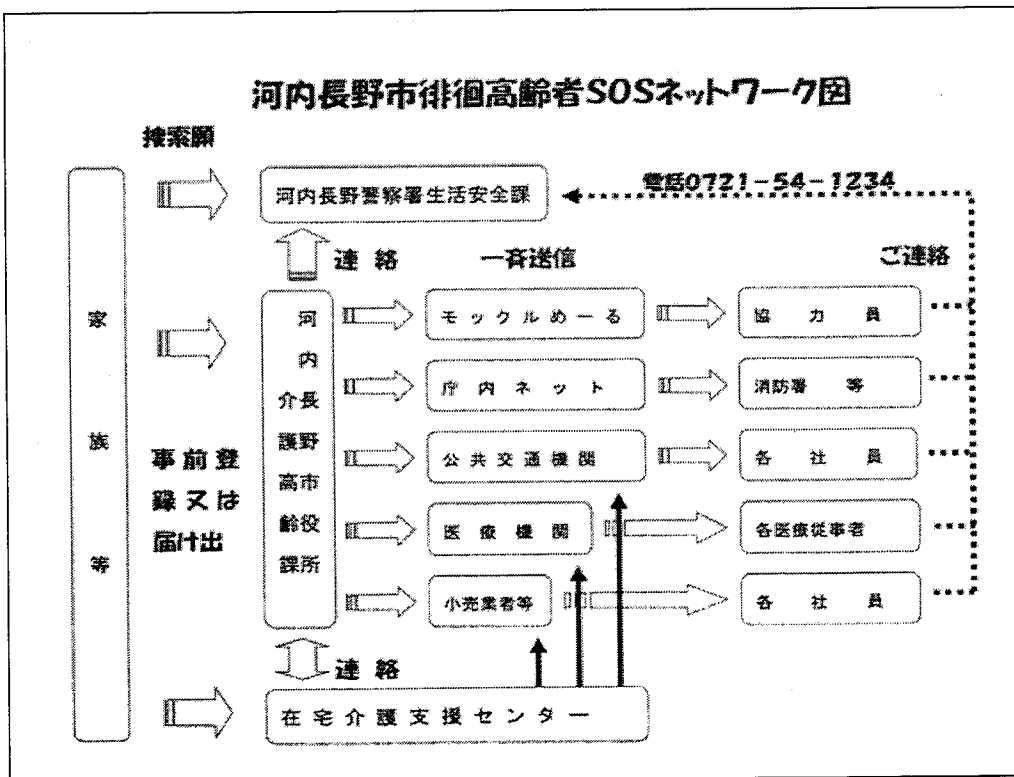
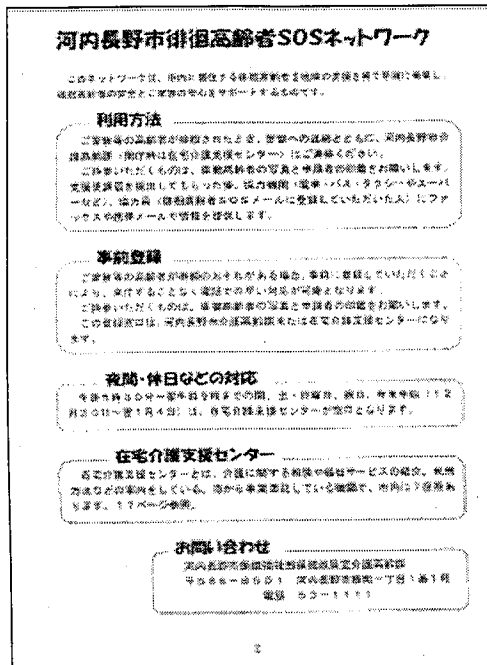
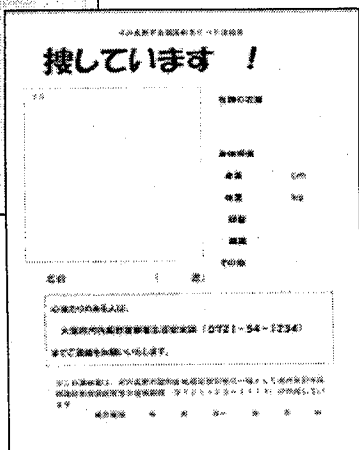
[illegible]

地域資源マップホームページ(周南圏域・山口県)
<http://www.kaigo.pref.yamaguchi.lg.jp/ninchisho/shunan/>

<http://www.kaigo.pref.yamaguchi.lg.jp/ninchisho/shunan/>

◆徘徊SOSネットワーク

河内長野市(大阪府)

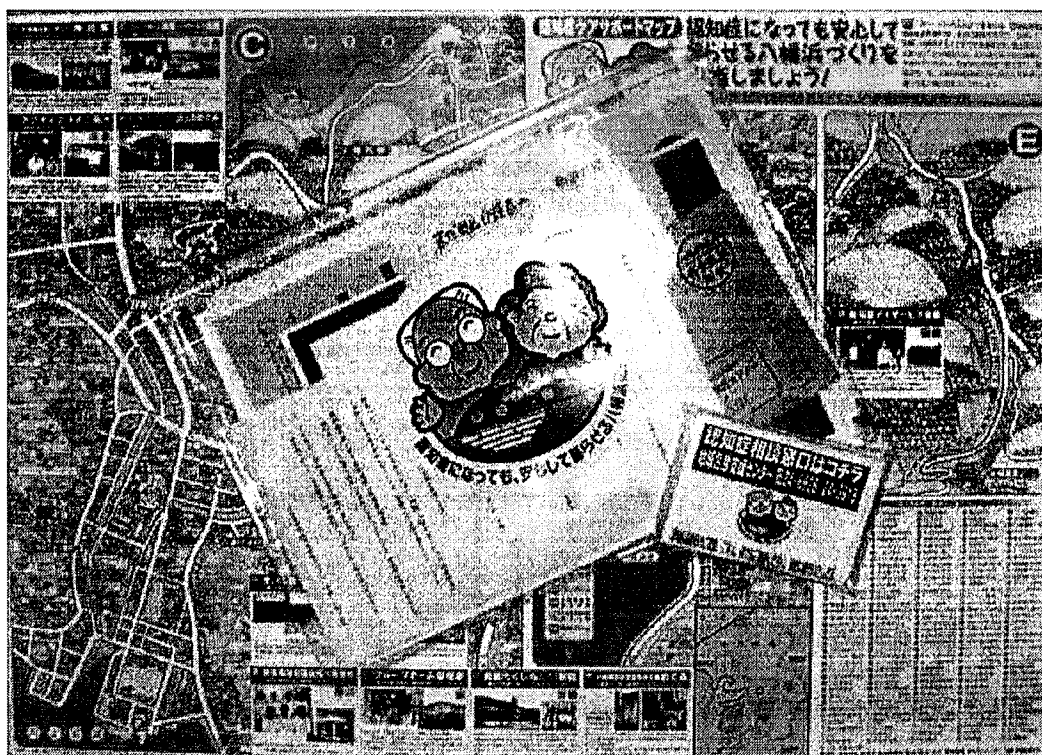


徘徊SOSネットワーク登録者への 情報提供を兼ねたプレゼントセット

認知症に負けないためのグッズ

- 一、「認知症サポート区」からのメッセージ
→ 認知症何でも相談室の開催予定もお知らせします。お資料にご相談ください。
- 一、「介護家族教室」参加者からのメッセージ
→ 介護家族教室のお持いです。毎月第三火曜日に開催します。
- 一、まだ見ぬ介護者へ(和田行男・作)
→ 認知症の子どもへの手紙を書いてみましょう。
- 一、位置確認装置(GPS) パンフレット
→ コッセコムからパソコン、ケータイで高齢者の行方チェックできます。
- 一、認知症ケアサポートマップ
→ 市内の協力者が掲載されています。
- 一、徘徊ネームプレート
→ かばんやポケットに入れるタイプ(5個) 衣服に貼るタイプ(5個)
→ 取扱説明書同封。備えあれば憂いなし。
- 一、認知症の症状別説明
→ 人物挿絵・イラスト・写真をとる症状別に説明します。
- 一、絵本「いつだって心はまわっている」(抜粋)「僕のおじいさんは冒険家」
→ 徘徊をする元祖おじいさんのおじいさん。お孫さんにはどう見えたのでしょうか。
- 一、認知症サポーター養成講座「愛媛中絶言」
→ 認知症について地域の住民にも理解してもらいましょう。開催時間は第一時間です。
- 一、チラシ「認知症を学び地域で支えよう」
→ 認知症サポーター養成講座の標準教材です。今からぜひ配布はお問合せください。

八幡浜市地域包括支援センター 電話 二四一三九一八



◆ともに動き出した人々

推進会議(飯綱町・長野県)
住民の力を結集



宇治市(京都府)
市と一体となって活躍した
コーディネーター



認知症セミナー(京都府)
報告会を兼ねた府全域の研修



報告会(福井県)
モデル地域の報告をもとに市町単位で
21年度からの計画づくりをスタート



センター方式地域セミナー(佐伯市・大分県)
県、市の行政職と包括職員が一体となって



平成 20 年度老人保健健康増進等事業報告書
自治体における認知症地域支援体制構築の効果的な推進に関する開発研究事業
報告書

発行元 社会福祉法人 浴風会
認知症介護研究・研修東京センター
〒168-0071
東京都杉並区高井戸西 1-12-1
電話 03-3334-2173

発 行 平成 21 年 3 月